



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.3.11 No.4355

三月ダイ改交渉

全面対立で一日集約

【日刊四三四八より続く】

二月一五、一六、一九、二一、二六日の各日に渡り、三月ダイ改に係わる千葉支社との団体交渉が開催された。

今回の当局提案は、運転関係では習志野運輸区の行路の変更、並びに各電車区関係の要員削減の提案を焦点としたものであったが、動労千葉としては、昨年一二月ダイ改による勝浦運転区廃止攻撃による各運転区への歪みの是正等一二月ダイ改の問題点を調査し、当局にぶつける「労働条件改善闘争」の第一弾としても闘われた。基本的には、運転士の勤務の特殊性からくる食事時間・睡眠時間の確保等この間の切実な要求については、旧態依然とした回答を繰り返すのみであったが、しかし、この間の粘り強い交渉の中で、若干ではあるが、次のような成果をあげたといえる。

木更津支部
当 キハ三八系投入時(六く七月)にB一六二・九三三Dの出区について内勤に持ちかえるかどうか検討する。

銚子支部
組 B三一・三七四Mの併結作業をB一七に振れば多少食事時間が確保される。

業をB一七に振れば多少食事時間が確保される。

当 三三四Mを担当してきたB三一が併結作業を担当することが基本であるが、併結作業をB一七と交替出来ないか検討してみる。

また、この間全支部をあげて行ったPRCや信号、行き違い等による運転士が指示されている運転時分と実際の運転時分が食い違う点等についても

銚子支部、**京葉支部**、**館山支部**
当 成田線水郷く椎柴間の制御時分を改良した。二月一七日、京葉線における東京駅での制御時分を二分三〇秒から一分五〇秒に短縮した。

館山支部
組 千葉以東の実態に合わない一五秒停車は、改善すること。特に、内房線の二一六一Mは、君津以遠も多客である。上総湊までは降客が多い。

当 実際に出来るかどうか運行の方に投げておく。

設備関係では、

館山支部
組 千葉駅乗務員休憩室に防音対策を講ずること。

当 来年度に二重窓化を検討したい。

銚子支部
組 総武快速線、上り新小岩鉄橋を渡ってから、一〇五K/hの制限標が見えにくいので改善すること。

当 反対側の柱につけられないか検討する。

千葉転支部
組 一宮駅十六R入信が見ずらいので改善されたい。

当 高さを変えてしまうと乗客にぶつかるようなことになりかねないので、現行で位置・高さで若干斜めに設置すれば見やすくなるのかなと思いい、斜めにするのを検討したい。等々、ほんの少しではあるけれど、この間の粘り強い交渉の成果が、表れているのではないのか。

勝浦運転区を復活させよ!

しかし、前述のとおり動労千葉の基本的要求は一切前進していない。八十二年間もの間、外房線の輸送に携わってきた勝浦運転区が当局の不当労働行為に

よって廃止された。これによって館山運転区は、十二月ダイ改以前は千葉く鴨川通しの行路が三本から九本に増え、乗務員交番作成基準すれすれの行路となっている。

また、千葉運転区も「日刊四三三九」既報の三一仕業のように、早朝わざわざ一宮まで便乗で移動し、出区のみを担当し、また大網まで便乗で移動、東金線を運行担当するなどという効率の悪い行路が出来ている。こうした行路の作成は、結局のところ勝浦運転区廃止＝鴨川運輸区設置に原因があるに他ならない。

組 勝浦運転区を復活すること。当 鴨川運輸区については、全社的に運輸区設置に取り組んでおり、運転士と車掌の二層の相互理解と融合を促すとともに、効率的な業務運営体制を構築することを目的に新設したところである。これに伴い安房鴨川車掌区と勝浦運輸区を廃止したものである。

組 冗談ではない。そんな回答は聞き飽きている。千葉支社も知っているとおおり、この件については、千葉地方労働委員会に不当労働行為事件として申し立てを行った。勝浦運輸区廃止そのものが動労千葉の組織力を減退させる不当労働行為である。

運輸区が成功しているなどというものは、全くうそである。運転士の業務と車掌の業務は全く違う。特に、準備作業について運転士と車掌は全く違い気を使うことばかりである。

運転士はその日の仕事について、行路や徐行等注意事項を確認し、業務に専念しなければならぬ。しかし、その脇で車掌は、おつりの確認とかをしていく。同じ詰所で金の計算とかをやらせていたら、現金事故の問題も含めて、運転士の業務を遂行するための準備に気が散ってしまうが、いや、やはり、運転士は運転士、車掌は車掌と区を分けるべきであり、当局の主張は現場の実態とは全くそぐわない。勝浦運輸区の庁舎はまだそのまま残っている。いまからでも勝浦運輸区を復活させるべきだ。効率論にしてもそう。鴨川の新社によって、他区にしわ寄せがいつている。

当 新設された職場なのでまだ人間関係もよく知らないから、なかなかそぐわない面があるうかと思う。しばらくすれば人間関係も含めて慣れてくると思う。

組 人間関係のことを言っているのではない。業務実態のことをいっているのである。運輸区政策は、習志野でも、京葉でも、そして鴨川でも失敗している。

というようなりとりであり、動労千葉の基本的課題は、未だ解決しないままに推移している。しかし、JR体制が揺らぎはじめ風が吹きはじめた状況をしつかりと確認し、動労千葉の反動的に発揮し、JR体制によって奪われた労働条件を復権されるために、全力で闘おう!